

Special Feature

革新的な製品・技術の開発に取り組む

本社・研究開発棟 完成インタビュー

横浜本社に新たに完成した研究開発棟で製品・技術の開発に取り組む豊永竜生センター長と、今尾友祐さんに伺いました。

拠点情報

所在地 神奈川県横浜市
(本社/技術・研修センター敷地内)
延床面積 2,028㎡
施設概要 精密金属3Dプリンタ関連の研究開発、
新電源、新世代CNC等の新たな要素技術
の開発など



アドバンスト研究センター
豊永 竜生センター長

新研究開発棟に移動して数か月たちましたが、どのような印象をお持ちですか？

A. 今までは実験室、オフィスなど人員がバラバラに配置されていましたが、新研究開発棟では1フロアに集約されたことにより、コミュニケーションが活性化されたように思います。また、研究スペースには最新研究設備が順次導入される予定で、今後更に色々な研究開発テーマに取り組めるようになります。



今、取り組まれている研究テーマについて教えてください。

A. 金属3Dプリンタの制御装置を開発しています。ソディックには放電加工機の開発で培われた制御技術がありますので、応用して開発を行っています。金属3Dプリンタでは放電加工機にはない特殊な制御もあり、開発は難しいですが、やりがいを感じています。制御装置の開発は加賀事業所や Sodick Americaとも連携して行っています。



アドバンスト研究センター
今尾 友祐

当社グループのテクノロジーを結集することで、より効率的な研究開発・製品化を目指しています。



新研究開発棟ではどのような研究開発を行っていますか？

A. アドバンスト研究センターでは、NC装置や各事業部のコアとなる要素技術の研究開発を行っています。ソディックでは、NC装置、リアモータなど様々なキーコンポーネントを内製化してきましたが、金属3Dプリンタや半導体関連、IoTやAI(人工知能)など新たなコア技術を育てるべく研究開発を強化しています。次世代技術を生み出し、コスト削減や新製品に繋げていくことが私達の役割であると考えています。

ソディックの強みはどのような点だと思いますか？

A. ソディックには、放電加工機、マシニングセンタ、射出成形機、NC装置、リアモータ等、専門知識やコア技術を持ったスペシャリストが多くいます。様々なコア技術をカスタマイズし、融合することで、性能向上や新技術を生み出すことができる人材や環境が整っている点が強みであると感じています。



ソディック
広報キャラクター
「TF-1」
(ティーフワン)